

「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 2019-2023（愛称：京からはばたく、学びプラン）」に基づく令和3年度の主な取組

1 グローバル拠点推進事業【新規】

【柱4 (1)ー③地域企業と学生の出会いの場づくり(P25)】

- ① 事業概要
スタートアップと学生・留学生との交流の場を創出し、スタートアップの人財確保を支援する。
- ② 令和3年度取組内容
大学生・留学生と京都市内スタートアップ企業との交流会の開催（年2回程度）。

2 リカレント教育の推進支援、実施に向けた検討【新規】

【柱5 (1)ー①リカレント教育(職業人・社会人向けの教育プログラム)等の実施・充実(P27)】

- ① 事業概要
各大学等が実施するリカレント教育プログラムを共有するとともに、リカレント教育の推進に向けた支援策を検討・実施する。
- ② 令和3年度取組内容
新規に「大学リカレント教育リレー講座」として6大学6講座を実施する。
引き続き、各大学が実施するリカレント教育の支援策及び大学コンソーシアム京都が実施するリカレント教育等について検討する。

(参考) 令和3年度大学リカレント教育リレー講座科目一覧

講座開設大学	講座名
京都女子大学	日本の社会保障制度について
立命館大学	「フォスタリング・ソーシャルワーク専門職講座」について
京都精華大学	デジタルメディア制作の領域での働き方、働くための技術とは。
京都工芸繊維大学	歴史的建造物を現代に生かす技術とデザイン
京都橘大学	消費者行動の心理学
同志社大学	社会人の学び直しに対応した同志社大学のプロフェッショナルプログラム

3 日曜講座開設による京都全体の教職課程の充実

【柱1 (1)－④大学間連携の取組を活用した、教員免許等資格取得に必要な科目の履修支援(P15)】

① 事業概要

京都教育大学と連携し、キャンパスプラザ京都において、社会人を含めた学生が受講しやすい時間帯（日曜）における教員免許の資格取得に必要な単位互換科目を開設する。

② 令和3年度取組内容

教職課程の日曜講座として、4科目（教職論、教育心理学等）を開設する。

※ 当初、令和2年度に開設予定であったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、すべて開講中止となった。

4 大学のまち交流センター管理運営

【柱1 (1)－⑤京都市大学のまち交流センター(愛称:キャンパスプラザ京都)の利用促進(P16)】

① 事業概要

大学における学術研究の成果、その他の知的資産を活用することにより、豊かな地域社会の形成に資するため、大学相互の間及び大学と産業界、地域社会等との間の連携・交流を促進する活動等に活用。

② 令和3年度取組内容

新型コロナウイルス感染症の感染状況等を注視しつつ、研修等の実施による窓口対応力の向上及び利用者ニーズの継続把握等の実施により、利用者サービスの向上に努めるとともに、一人でも多くの大学関係者に、京都市大学のまち交流センターの存在や重要性を改めて認知いただき足を運んでいただけるよう、努めていく。

5 学生向けアプリの開発・活用

【柱1 (2)－④学生が安心・安全に学ぶための相談体制等の充実(P16)】

【柱6 (3)－③大学・学生向け広報の充実(P32) など】

① 事業概要

京都でしか味わえない学生生活を実現するための各種取組を、学生に直接かつ確実に届ける「大学のまち京都・学生のまち京都」アプリ（令和元年度末開発予定）を活用し、「京都学生広報部」や「輝く学生応援プロジェクト」、「京都学生祭典」等の取組に学生を引き込み、学生の主体的活動を促進し、京都のまちの活性化につなげる。

② 令和3年度取組内容

更に多くの学生にアプリを利用いただけるよう、引き続き広報に力を入れるとともに、各大学や学生団体、企業等と連携しながら、アプリを活用した様々な取組に学生を引き込んでいく。

6 大学地域連携創造・支援事業（通称：学まちコラボ事業）

【柱3 (2)－①学生と地域の連携強化(P22)】

【柱5 (4)－①大学と地域の連携強化(P29)】

① 事業概要

魅力ある地域づくりや地域の課題解決に向けて、大学・学生と地域が一体となって取り組む事業を広く募集し、助成金を交付するとともに、区役所等と協力し、学生と地域のつながりをより一層促進する。

② 令和3年度取組内容

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を踏まえ、事業を休止したが、令和3年度は、学生の地域連携活動への参加を促すことで京都への定着にも寄与するとともに、地域に貢献する若者を育てていくという考えのもと、コロナ禍における対策を講じた上で活動を継続できるよう、引き続き、支援していく。